



中央区フィランソロピー懇談会による地域の公園へ花のプレゼント

企業の社会貢献活動と社協連携

企業等ネットワーク構築ハンドブック

日本では、1990(平成2)年をフィランソロピー元年といわれ、この年、経団連(日本経済団体連合会)は「1%クラブ」を発足。経常利益・可処分所得の1%以上を自主的に社会貢献に活かすことを提唱しました。

大阪市社会福祉協議会では、90年代に「企業ボランティア活動担当者懇談会」をはじめ、「企業ボランティア活動調査」、「企業・労組ボランティア活動連続セミナー」、シンポジウム「労働組合の社会貢献活動を考える」、企業や労組の「アドバイザー研修」などを開催してきました。

また、区社協と連携しながら、1999(平成11)年の中央区フィランソロピー懇談会の発足以来、活動展開の支援を行ってきました。近年こういった動向がいくつかの区で展開されています。このハンドブックが、これからの企業等における地域活動の参考になれば幸いです。

大阪市ボランティア・市民活動センター



おくばっくん



出前講座

企業の強みを生かした地域貢献活動…それは専門性の提供です。CFKの会員企業の社員が、住民の皆さんに様々な情報を届けます。例えば、化粧品関連の会社は、メイクの方法やハンドケアの大切さを伝えます。接客業関連の会社は、コミュニケーションスキルのあり方。コーヒーマイスターの資格者からは、コーヒーのおいしい入れ方。整体関連の企業からは「ふれあいマッサージ」の簡単なやり方など、地域会館で気軽に講座が開催されています。



結成以来つづく「企業・市民セミナー」 (CFKチャリティーフェスティバル)

CFK結成の年(平成11年)に、さっそく「企業・市民セミナー」が開催され、大手企業の社会貢献担当者が取り組みを紹介。以降、毎年開催され、東日本大震災の平成23年からは「CFKチャリティーフェスティバル」として、大震災の教訓を次世代につなげられるよう、小学生から高校生までの参加も盛んに行われ、震災詩集の朗読や、東北や熊本の商品販売の体験を通して、大震災の教訓の共有が図られています。



お出かけ定例会(東レ株式会社 大阪本社にて)

企業間交流の立ち上げ

「会社のある中央区の地元で、住民の方々と交流し、社会貢献を探りたい…」ある会社の担当者のそんな思いで、中央区フィランソロピー懇談会(CFK)は平成11年にスタートしました。

担当者は他社にも声かけをするとともに、地域に根差している区社会福祉協議会(以下、区社協)にも連絡しました。区社協は快く協力を了承し、いくつかの企業に呼びかけもしてくれました。

初めは数社の集まりでしたが、毎月の定例会で互いの理解が深まり、新しい企画も生まれていきました。「お出かけ定例会」もそのひとつ。基本は中央区社協の「ふれあいセンターもも」での開催ですが、参加企業から会場提供をしてもらい、企業に出かけ、定例会を開催するというものです。

その企業の社風の話いや、取り組み事例の紹介などで、互いに理解を深めます。

地域に花のプレゼント

CFKでは、地域貢献活動の一環として、毎年、地域の公園や会館の花壇に花のプレゼントを行っています。

植え替えのあとは、地域会館で、地域活動者の皆さんと懇談を行い、それぞれの立場から協働の可能性を探ります。その結果、出前講座の開催やチャリティーフェスティバルなどイベントへの参加につながっていきます。



今後連携を深めて盛りあがっていく気運が広がる



住みやすい西淀川区をめざして白熱する議論

企業と福祉のマッチングをめざす

偶数月に開催されている、にしょどリンクは毎回30人を超える多様な参加者でにぎわいます。

特徴は、西淀川区内の中小企業事業者が中心ということ

です。入浴サービス、訪問看護、障がい者施設、環境や文化、子ども支援に関わるNPO、信用金庫や生命保険会社など幅広い業種が集います。

とにかく西淀川区を愛するメンバーの心は熱く、定例会では、住民が安心して住めるまちづくりの議論が盛んになります。

現在の西淀川区の課題、例えば、自転車の正しい乗りかた、住民が参加して楽しめる

新しいイベントはどのようなものか、既成のイベントににじょどリンクとして参加できる可能性を探るなどなど、ワーケシヨップで喧々諤々、グループ発表も様々な視点で展開されます。

その他、ONEとONEの関係を大切にし、参加団体が互いの職場などに出向き、約1時間、情報交換や協働でそれぞれの企業が地域住民の福祉充実にどのようにかかわれるか新しい地域貢献を模索します。

アンケートをもとに、着実な活動展開を

住之江区では平成25年秋に、区内183社を対象に「企業の社会貢献活動に関するアンケート」を実施しました（回答率29%）。また同様のアンケートは28年夏にも、318社を対象に行われています（回答率10.7%）。

2回の調査結果、地域貢献活動の意義については「地域社会の一員として、重要と思うから」「地域社会や住民とのコミュニケーションを図るために」ととも上位を占めています。企業にとって地域住民との関係を重視していることがわかります。しかし一方で、地域団体やボランティア・NPOと連携協働したいが接点がないという意見もあり、出会いの機会をつくることの大切さが

うかがわれます。また、行政や中間支援組織に望む役割については、「地域と企業とのコーディネート機能」が2回とも1位でした。

これらのアンケートを軸に、同区では平成25年から「企業・NPO交流会」が年3回開催されており、その後、学校や地域住民も参加が広がってきました。29年には、さらに参加者主体を構築するため、「地域活動応援サークル」を開催しました。これは業種を超えた社会人のボランティアサークルをめざして、地域住民の活動を応援しようというもので、原則として隔月に集まり、毎回、熱い意見交換がなされています。

東日本大震災 復興支援プロジェクト

各団体の「強み」を持ち寄り…スマイルウエディングフォト 東日本大震災の被災者を支援

平成25年に東日本大震災で大阪に避難されている方々に、ブライダルフォトをプレゼントする活動を、ECC社会貢献センター、ECCアーティスト美容専門学校の学生達が行いました。

この企画を一回で終わらせたくない、少しでも被災された方が元気になる機会をつくりたいという想いから、大阪市ボランティア・市民活動センターが中心となり発信し、企業・団体が参画し、東日本大震災復興支援プロジェクト(別項)として、毎年開催してきました。

そして26年からは、実際に被災地での活動となりました。27年に応募したある夫婦は、新郎が自宅全壊、新婦は父と祖母を津波で亡くしました。25年5月に入籍しましたが、結婚式を挙げることはありませんでした。「震災から4年が経ち、まだ忘れられないこと、忘れてはいけないことがたくさんあるけれど、前向きになって頑張ろうという気持ちになってきて応募した」と語りました。新婦のお母さんも「娘のウェディングドレス姿を見られて嬉しい。お父さんもきっと喜んでいることだと思う」と涙ながらに感謝していました。

被災地活動で現実を実感

学生たちを指導する先生は「授業の中で調べた東日本大震災はどこか他人事で、先輩の報告会に参加しても、いまひとつ実感をともなわない物でしたが、実際に現地に伺い、仮説住宅や復興を遂げた海苔工場など被災地の現状を自分達の目で確認し、被害に遇われた方の生の声を耳にして、それぞれの心に深く感じる物がありました。そしてその思いを鮮烈に感じながらウエディングフォト撮影のボランティアに取り組みました」と話しています。

企業や団体のネットワークと実践で、被災者の皆さんとの新しい思い出づくり、学生達の貴重な体験が実っています。この活動は、今後も形を変えて継続できるよう、話し合われています。

東日本大震災復興支援プロジェクト…(株)バリュー・ザ・ホテル、価値開発グループ、学校法人山口学園ECCアーティスト美容専門学校、学校法人山口学園ECC社会貢献・国際交流センター、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア・市民活動センター、(株)スマイルハンター、TAKAMI BRIDAL、華ギャラリーコットンローズ(五十音順・平成29年現在)



学校での学びを大震災の地で、被災者にプレゼント



新しい思い出づくりに喜ぶ応募した夫妻



大阪市の中心地で、住民のネットワークを模索する

都会の希薄な住民関係にチャレンジ

単独世帯が62%、その内20~30歳代が46%(平成22年度国勢調査)。北区の世帯状況を見ると、住民同士のネットワークの難しさがよくわかります。

そんな現状を背景に「異次元交流ライブ」が平成25年からスタート。ボランティアグループ、NPO法人、大・中小企業、病院、大学、専門学校、大都会の縮図のような参加者が集います。

まず面白いのは会場の選択。地域住民が運営するホールや大学のサテライトなど、覗いてみたい設定に工夫があります。北区を魅力ある街にするためのワークショップに意見の花が咲き乱れます。



企業・NPO交流会
in Fukushima

災害時に企業ができることに焦点を絞って議論

災害時支援にスポットをあてて

福島区の企業・NPO交流会は、平成28年から、「災害」をテーマに開催しています。社会福祉協議会の災害訓練を実施する中で、企業も災害時の支援を模索しているという視点で、それまでに開催していた交流会を災害時支援に切り替えました。

参加団体は毎年10数団体、20人を超える。会場は地元企業の提供。災害時に自社が支援提供できる「強み」はなにかを話し合い。すでに災害支援活動をしている企業からの事例発表。

2年目には、平成28年4月の熊本地震をふまえ、地元から講師を招いて、災害ボランティアセンターへの企業支援を聞き、ワークショップで、自社の支援活動をイメージしました。

24区ボランティア・市民活動センター/ボランティアビューロー一覧

2018年12月現在

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあつたかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティアビューロー	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティアビューロー	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0083

大阪市ボランティア・市民活動センター

開館時間

月・水・金: 午前9時30分～午後8時30分

火・木・土: 午前9時30分～午後5時

休館日

日・祝・国民の休日・年末年始

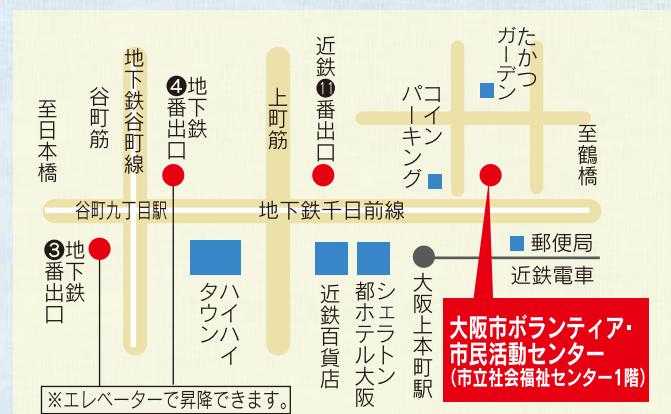
所 在 地

〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1階
TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

最寄り駅／地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅、

近鉄線「大阪上本町」駅 11番出口から東へ200m



※エレベーターで昇降できます。

E-mail ocvac@osaka-sishakyo.jp

HP <http://www.osakacity-vnet.or.jp>

blog <http://ocvic.blogspot.jp>

twitter <http://twitter.com/ocvic1998>

Facebook <https://www.facebook.com/ocvac>